

1 開会

2 土屋市長あいさつ

今年度、第1回目の総合教育会議に御参加いただき、感謝申し上げます。

峯村教育長はじめ、教育委員の皆様におかれましては、日々、上田市の子どもたちのために、教育の充実・発展に様々な立場で御尽力をいただいておりますこと、心から感謝申し上げます。

まず、新型コロナウイルス対応ですが、市内小中学校におきましては、それぞれの学校で特色を持ちながら子どもたちに学びを伝えるため、真剣に考えていただき、そして実践いただいたと聞いております。緊急事態宣言が解除され、感染状況も比較的落ち着いていることから、去る5月18日から分散登校が開始され、6月1日からは本格的な学校再開となってきます。このような事態に直面した時に、どのような行動をしていくか、また、どのように学習を進めるべきかなど、子ども達や保護者の皆さまも色々なことを考えた期間だったものと考えております。

過日、21日に招集した臨時議会において、心の教室相談員による相談体制の充実などを盛り込んだ補正予算を議決いただき、心の不安を抱えている子どもたちに対しての寄り添う気持ちや、相談体制についてももしっかり取り組んでまいりたいと思います。

今後は with コロナ、ポスト・コロナと言われる中で、コロナといかに共生していくか、また、どのような生活様式に変えていくかなど、教育の場面でも考えていく必要があると思っております。

さて、本日の会議ですが、平成28年3月、この上田市総合教育会議の場において御協議をいただき策定いたしました「上田市教育大綱」と「第2期上田市教育支援プラン」について、今年度が改訂の年に当たりますことから、学校教育、生涯学習・スポーツ、文化芸術の3つの分野ごと、新たな目標設定等の見直しなど、改訂に向けた協議・検討が必要となります。

現行の大綱と支援プランのこれまでの進捗状況を把握しつつ、市長部局と教育委員会との相互の情報共有を図りながら、上田市の教育の進むべき方向性などについて、委員の皆様から御意見をいただき、意見交換を行えればと考えております。

上田市の教育を取り巻く現状や課題、そして、これからの方向性を教育委員会と市長部局がしっかりと共有することが大事でありますので、御意見をいただければと思います。

教育は、生涯にわたって学び続ける、また、どのように生きていかといった哲学的な思考もありますが、学校を卒業して社会人になって「どう生きていくか」、あるいは、経営者の方であれば経営理念とともに社員教育ということもありますが、学びということがとても大事だと思っております。長野県でも「学びと自治」が一つのテーマとなっております。大人が学ぶ姿勢を創っていく、「生涯にわたって学んでいく」姿勢などを示すことも大事であると思っております。

本日は限られた時間ではありますが、皆さまと意見交換、情報共有できればと思っておりますので、よろしく願いいたします。私からの冒頭のあいさつとさせていただきます。

3 峯村教育長あいさつ

令和2年度の上田市総合教育会議の開催にあたり、教育委員会を代表いたしまして、一言

あいさつを申し上げます。

土屋市長並びに教育委員の皆さまには、日頃から、上田市の教育行政発展のため、多大なる御支援、御協力を賜りまして、心から感謝申し上げます。

今般の新型コロナウイルス感染症につきましては、市民生活や子どもたちの学校生活にも大きな影響が出ております。

しかし、小中学校の状況を申し上げますと、土屋市長からもございましたとおり、5月18日から分散登校がはじまり、各学校に子どもたちの姿が戻ってまいりました。

この分散登校実施中、教育委員の皆さまには、5月22日と26日に、東小学校、豊殿小学校、第五中学校、神科小学校へ訪問していただき、コロナ対策等につきましても御指導をいただきました。誠にありがとうございました。

ここに至るまでは、日々、状況が変化する過去に例のない特殊な状況の中で、学校の休業やその延長など難しい判断が続きまして。上田市内に感染を広げないこと、子どもたちの生命と安全を守るという決意のもと、市長部局とともに十分に情報共有を図り協議を重ね判断してこることができたと考えております。

いよいよ6月1日から学校が再開します。引き続き感染予防対策をしっかりと講じながら、子どもたちの笑顔と元気な声、真剣に学ぶ表情があふれる学校生活を取り戻していきたいと考えております。また、今後は休業による学習の遅れを取り戻すための取組も必要となります。例年よりも1学期の終業を遅らせることで授業時間を確保するなど学校とも連携しながら、さまざまな対策を検討してまいりたいと考えております。

本日の会議では、上田市教育大綱と第2期上田市教育支援プランの改訂に向けて、事業の進捗状況を確認するとともに、上田市の教育に関する土屋市長のお考えをお聞きし、今後の上田市の教育が目指すべき方向について、ともに考えることができる貴重な会議であると考えております。市長と教育委員会が率直な意見交換、協議を行う中で、課題への対応や今後の進め方など、手がかりを見つかることができるよう期待しております。

本日の会議も市と教育委員会が一体となって教育行政を推進するための意義ある会議となりますことを願っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。

4 報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症に係る対応等について

●柳原政策企画部長

新型コロナウイルス感染症上田市対策本部会議資料等により説明

- ・市有施設の休館、閉鎖の解除対応一覧
- ・市主催のイベント・行事の開催についての当面の判断基準 など

●柳原政策企画部長

ここまでで御質問や御意見等はございますか。

●横関教育委員

吹奏楽の関係など、学校に関わる内容としての質問だが、国の資料にある「イベント開催制限の段階的緩和の目安」の中で、管楽器にも注意とあるが、市としてどのように考えているか。

●柳原政策企画部長

管楽器の吹奏により呼気が大量に出る関係もあり、歌なども同様だが、その点に関する注意喚起と捉えている。また、ダンスなど体が密着するものについても注意が必要と考えている。

●森田教育委員

参加者名簿に記載する情報は、どの程度が必要となるか。

●柳原政策企画部長

ガイドラインの中で、「住所・氏名・電話番号」の3つの情報を主催者が保管することとされている。相手先が特定でき、連絡をつけることができる名簿が必要となる。

●横関教育委員

ぜひ、学校が再開したところで、市長には学校訪問を計画していただきたい。また、再開に合わせて医療体制を整えておく必要があり、消毒薬や体温計が不足する状況もある中で、危機管理意識を持って対応していただきたいと思っている。

市内には多くの企業があり、ぜひ連携を進めていただきたいと考えているが、どうやって連携していくか、市長の考えをお聞きしたい。

●土屋市長

この間、市内企業はじめ各種団体の皆さまからマスクを寄贈いただき、中には小中学生のためと限定しての寄贈もあり、大変ありがたく思っている。

また、手指消毒液を製造する機器を貸与いただき、それを使って生成した除菌水を無料配布する取組を始めている。

これからも、体温計など学校で不足している物品の調査を進めさせていただくとともに、学校からも必要なものについて声を上げていただければと思っている。

●横関教育委員

企業の方には積極的に、全面的に協力していただきたいということを発信していただければと思う。上田市内にはたくさん良い企業があるので、連携して行くことについて発信に努めていただきたい。また、経済が潤わないことで子どもの貧困など影響が出てくるため、経済の活性化にも気を配ってもらいたい。

●綿谷教育委員

例えば今後、上田市内で感染者が出ってしまった場合の学校の対応について、教えていただきたい。

●峯村教育長

これまで、全市一斉に休校措置を取ってきた結果、およそ6週間分の授業、180時間近くが不足している状況にある。この遅れを、1学期の終業や2学期の始業の時期を調整して確保していきたいと考えている。しかし、第2派や第3波が確認された場合に、果たして全市で一斉休校措置を取ることが良いかどうか悩んでいるところであり、各学校では1時間も無駄にできない状況の中で、なんらかの形で学校を閉じることなく、やっていく方向について検討している。

5 会議事項

(1) 上田市教育大綱及び上田市教育支援プランの改訂について

●柳原政策企画部長

資料1-1、1-2により説明

・改訂版の策定の「趣旨」、「策定方針」、「今後のスケジュール」について

●柳原政策企画部長

ここまでで御質問や御意見等はございますか。

(特になし)

●柳原政策企画部長

それでは、引き続き、次の議題として資料 2～3 ではありますが、本日の会議では、次期教育大綱の策定に当たり、委員の皆さまからは「教育施策等を充実させていくためにどのような視点が必要か」といった御意見・御提言など、意見交換をいただきたく考えているところです。まずは資料 2 に基づき、教育委員会事務局から説明をお願いします。

(2) 上田市教育大綱の分野別施策の進捗状況について

ア 学校教育分野・・・「第 2 期上田市教育支援プラン」進捗状況報告書

●緑川学校教育課長

資料2(第 2 期上田市教育支援プラン進捗状況報告書)により説明

・教育支援プランに掲げた 14 の支援策に係る成果と課題等について

●柳原政策企画部長

ただ今の説明につきまして、御質問や御意見がありましたら、よろしくお願ひいたします。

●北沢教育委員

まず教育大綱に関する意見として、骨格等は大きく変えないということで賛成であるが、2～3 ページの文言の修正をお願いしたい。2 ページに「学ぶ意欲や生きる力を育む」とあるが、「学ぶ意欲」は「生きる力」の中に含むものと考えられる。3 ページには「豊かな心と生きる力」とあり、この「豊かな心」と「生きる力」は並列なものでは無いと認識しているので、こういう言葉の使い方での精選をお願いしたいと思っている。

また、「ひとづくり」の項目は 6 点あって多すぎるので、4つ程度に精選すべきと考える。内容は「知・徳・体」に関わるもの、上田市独自のものがあれば良い。大綱の基本理念「燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」は継続し、具体的な内容と文言の精選をお願いしたい。

加えて、教育支援プランに掲げている基本目標「確かな学力を養う」「グローバルな能力を培う」「ふるさと上田に学ぶ」の3項目と、教育大綱の目標がどのような関わりがあるかの整理が必

要と考えている。それぞれの内容は素晴らしいもので異論を申し上げることは無いが、支援プランの各施策の内容が、目標のどの部分と関りがあるのか説明できるようにしておく必要があり、目標と施策がバラバラでは分かりづらくなってしまふ。大綱の 2~3 ページを整理し、支援プランの各施策につながっていけば良いと思う。

●学校教育課長

貴重な御意見をいただいたので、今後、修正をかけて行きたいと思う。

●森田教育委員

ICTを活用した効果的な授業の推進については、今年度からスタートする「GIGA スクール構想」もあり、近いうちにオンライン教育も視野に入れるべき内容でもあることから、具体的なスピード感を持った対応が必要だと感じている。進捗状況の調査では、教員のICT活用指導力について高い数値となっているが、実際に授業で使ったというパーセンテージは低いという残念な結果であると思う。これについては、先生方も個々に色々な活用の仕方を研究されていることと思う。今後、プログラミング教育や統計教育など、オープンデータを活用して課題解決していくことが低学年から求められる教育となっている。そのような環境が教育現場として必須となっており、また、学力の低下という現状に対しても、これらの導入によって学力の向上が図られるという事例も多くある。ぜひ、具体的な政策、ロードマップを作って取り組んでいただきたい。

信州大学教育学部の「次世代型学び研究開発センター」で具体的なマニュアルを公開・提示していることもあり、上田市で管理しているサーバーだけでなく、一般のプラットフォームの活用も有効と考える。個人情報に関する部分は上田市のサーバーで管理して、教科に関する教材や先生方の情報共有など、教育現場においてはオープンなプラットフォームを活用することでブラッシュアップしたほうが、質やスピードもアップすると思うので、そのようなことも研究テーマとして、スピード感を持って、具体性を持った取組をお願いしたい。

●土屋市長

GIGAスクール構想については、当初、上田市として検討していた方針を全国的な状況を踏まえ変更していくということになった。教育委員の皆さまには、ご心配やご迷惑をお掛けしたが、御理解をお願いしたい。

まずは校内のネットワーク整備をすすめることについて、この 6 月の補正予算に計上する予定としており、その後一人 1 台の端末の配備を段階的に進めて行く計画としている。

そうした中で、学校の先生方の意識として、急激にICT化が進んで大変だと思うが、子ども達の身近なツールとして活用できるよう、先生方にはご苦勞をいただくこととなるが、これからの子ども達のため、一人 1 台端末に対応した実践が進むようご尽力をいただきたい。市としても教育ICTの環境づくりを進めて行きたいと考えている。

●柳原政策企画部長

委員からお話がありましたオープンデータについては、我々としても子ども達が使えるようなデータを市のホームページにも掲載するなど、お子さんに使っていただけるような環境整備も必要があるものと考えている。

●横関教育委員

大綱は教育の重要な柱になると考えているが、市長はどのようにお考えか、お聞きしたい。

●土屋市長

平成28年に策定した教育大綱については、上田市の基本理念として教育委員の皆さまをはじめ関係者の皆さまに取り組んでいただき、大変に貴重なものだと考えている。この基本理念は大事な視点だと思っており、また、大綱を基本として3つの分野の施策に分けられ、それぞれが詳細の実践活動に位置付けられる大変重要なものと考えている。

●横関教育委員

今回の新型コロナの影響を受け、生きる力、教育とは何かを考えることが多くあった。やはり他者との関りが大切な視点だと改めて実感した。画面越しでは分からないこともたくさんあり、人と人とが接する中で自分の存在価値や、共生することの意味などを感じる機会になるので、支援プランの学校分野に関する「人づくり」については良いと思う。

生涯学習やスポーツ分野の「地域づくり」に関しては、次のステージへの見直しも必要と考える。「育む」という表現などは、行政が上から目線だという印象を受けることもある。住民自治組織もできている中で、それぞれが役割を担いながらやってきているので、「お互いに支え合い、助け合う市民を応援します」などの表現で出していただき、ともに高め合う、ともに育つということを目標にしたほうが良いと思う。

この教育大綱を市民が見て、皆が分かりやすいよう、改訂する際に考えていただきたい。

また、支援プランの内容の中で、キャリア教育の推進の「課題と今後の取組方針」のところについて、「夢や目標を持つ児童が減少している」とあるが、その理由が明確でないと思われる。少子高齢化とIT化が理由となっているのか、その辺は再考していただきたいと思う。

●北沢教育委員

支援プランの外国語の教科化について、上田市では2年前からの先行実施ということで、指導主事の配置等、先見的な取組であったと思われる。指標の数字を見ても、英語のコミュニケーション能力が高まってきていて、一定の成果は出たと考えられる。2020年度からの英語教科化に対して適切な対応だった。引き続き、この項目を継続するかどうか、検討しても良いと考える。もしくは違う項目にして、例えばALTの人数が単に増えたということだけでなく、ALTの指導の質についても、指導力の向上につながるよう力を入れていただきたい。「英語教科化」は、2020年度から、すでに始まっているので、この項目は、削除または変更で検討したい。

●綿谷教育委員

少子高齢化が進み、地域企業でも人材不足等の状況がある中で、これからの上田市を担う子ども達を育てるということは大切なことであり、教育大綱の改訂等も計画にあるように進めて行っていただきたいと思う。

経営者という立場で見ても、会社の中で「考える力」が非常に大事であり、子ども達にも色々「悩んで、考える」という力をつけられる教育をお願いしたいと思っている。

また、キャリア教育や出前講座などについては、できれば商工観光部や商工団体と密接に連携をしてもらいながら、取り組んでいただきたいと思う。企業側も積極的に関わりを持ち、子ども達が興味を持てるよう、一緒に進めて行かれたらと考えている。

新型コロナウイルスによる授業の遅れへの対応も、しっかり取り組んでいただきたい。

●土屋市長

キャリア教育を行うことで自己肯定感に繋がるということも大事な視点であると思う。子ども達にとって働く喜び、働くことがどういうことなのかなど、キャリア教育を通して先生方に御指導をいただければと思っている。

色々な企業で職場体験を受け入れていただいているが、さまざまな業種があり、そのことについても学びを深めるなど、積極的に実践してもらいたいと思う。

●森田教育委員

これまでのキャリア教育は、勤労感や職業感の育成教育ということで位置付けられていたと思うが、市長が先に述べられたように、教育が生涯にわたってあるという視点で、今後は「社会的自立に向けての基礎能力」を育成していくものと考え必要があると思う。職業体験によって長野県内にどのような企業があるか、という調査だけではなく、自立に向けての「生きる力」といった観点で捉えると、例えばSDGsをテーマに取り上げて、自分と地球、または地域との関わりなどの視点に置いて進めるとか、1人多役(仕事、地域、家族)でどのように社会と関わっているのかといった視点なども取り入れ、キャリア教育のあり方、進め方等を検討いただければと思う。

●柳原政策企画部長

総合計画の中にもSDGsの視点などを取り入れて進めて行く予定もあり、そのような御意見を参考に組み立てさせていただきたい。

●土屋市長

学力向上の関連で、課題として「全ての教科で全国平均を下回っている」現状が挙げられているが、現状を分析し、今後どのように考えていくのか。

●峯村教育長

学力の向上という課題については、教育委員会が全力で向かっていくべきものと考えている。現状では、上田市の学校の全てが全国平均を下回っている訳ではなく、市内35校の平均を取るとそのような表現になるが、私が校長会でいつも申し上げているのは「各学校で独自の輝きを放って欲しい。その中で学力向上の方策を考えて欲しい。」ということを話してきた。

今年度は中学校で、定期テストを廃止し単元テストを実施することとしている。子どもにとって、「定期テストの前だけ勉強すれば良い」という意識ではなく、持続的に学びに向かっていく姿勢をいかに作っていくか、それこそが学力の向上につながっていくと考えている。

単元テストについては、1回実施してみて自分で不本意な結果であった場合、再チャレンジの機会を設けるといった方法で、子どもが学びに向かう意欲が高まるのではないかと考えており、今年度は数校で積極的に取り組む方向性が出ている。新しい方策・アイデアをいかに結集し、学力向上につながっていくか、今後の課題と考えている。

●土屋市長

テストは単に点数を取ることが目標ではなく、分からない所を分かるようにする、単元ごとに理解してから次に進むことが大切だと考える。単元テストの取組が良いケースとして、広く実施していただければと思う。

子ども達にも良い取組であり、分からないまま次に進むと挫折につながってしまうと思うので、「分かる喜び」が継続できるよう、よろしく願いたい。

●北沢教育委員

学力の向上に関して、進捗状況報告書の中の「授業が分かる」と回答する児童生徒の割合の項目については向上傾向にあり、評価できるものと考えている。結局は、授業改善に取り組むことが家庭学習に結びつき、日頃の学習意欲にも結びつく。良い授業をして、家でも学習に取り組んでみようという姿勢につながるよう、先生方の授業力・教科指導力の向上を第一に考えたい。

このほか「防災教育」について、どこの学校でも避難訓練は実施されているが、昨年度の令和元年台風の災害状況を見ても、それだけでは子どもの安全の確保はできないものと実感している。火災や地震時の避難訓練だけではなく、地域の状況に応じた防災教育を考えてもいいと思う。県内の小学校では、消防団や地域の方と一緒に学校や公民館へ宿泊の機会を設け、簡易なものでお米を炊いたり、泥水から飲める水をつくったりする様々な経験をしている学校もある。これらは食育にもつながる。上田市の小学校等でも、多様な防災教育が考えられると思っているので、実情に応じた内容を考えていただきたい。

●横関教育委員

「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがある」の項目は高い割合を占めており、人づくりとして先生方や御家庭でやってこられたことで成果を得たのだと思う。また、「信州型コミュニティスクール」については全ての学校で要件を満たしており、地域の方々のお力添えもあって子ども達が成長できている、さらに、「運動」も大好きだという結果となっている。上田の子ども達は非常に伸び伸びと、地域の中で育っていると思う。数字ばかりに目を向けるのではなく、「生きる力を養うにはどうしたらよいか」ということを見ていただけたらと思う。

防災の関係については、感染症の対策という視点も含めて考えていっていただきたい。

食育に関しては、私の希望として、分散登校でも給食を止めず、提供をお願いしたいと思っている。学校を閉じることで、子ども達の心身を脅かすなど弊害があると言われているので、ご飯が食べられないということなど無いよう、学校をどうするのか、子どもの立場になって考えていけたらと思っている。

●土屋市長

防災の関係は、去年の台風災害の経験もあり、大事な視点と考えている。防災訓練については、上田市でも夜間の実施など、さまざまなケースを想定しながら実践的な訓練などを検討している。委員が言われるように、水や食べ物を作るといった体験的なものも大事かと思う。

食育について、第2学校給食センターの建設も進めているが、知育・徳育・体育の原点であり、さまざまな形で発信しなければいけないと思っている。

災害時での給食の話も出たが、お弁当を持って学校へ行くことは、かなり抵抗があるのか。

●横関教育委員

給食は安価で提供いただけるが、家庭ではなかなかできず、負担が大きくなってしまふ。食べることができるのであれば、簡易的なものでも良いので、工夫して給食を確保してもらいたいというのが、私の要望である。給食費や食材の調達などの点を考えても、給食を提供したほうが良いものと考えている。

●土屋市長

私も給食センターの役割を果たさなければいけないと考えている。

●北沢教育委員

緊急事態時の給食のあり方などは、考えても良い項目だと思う。別の視点では、学校によっては、食育に関わって「お弁当の日」などもあり、子ども自身が作って持って行く日を設けているところもある。

給食については、以前から上田市の給食センターで「出汁」にこだわるなど素晴らしい取組をされている。今後も続けてもらいながら、センターが新しくなったらできる「食育」に関わる取組なども検討していただきたいと思う。

●柳原政策企画部長

ありがとうございました。さまざまな御意見を頂戴いたしました。本日の御意見等を踏まえまして、今後、「上田市教育大綱」と「第2期上田市教育支援プラン」の改訂に向け、それぞれの取組内容について共有を図りながら、協議・検討を行ってまいりたいと考えております。

時間の関係もございますので、予定していました「生涯学習・スポーツ分野」と「文化芸術分野」の進捗状況については、次回会議で改めて御報告をさせていただきながら、御協議をいただきたいと思っております。

イ 生涯学習・スポーツ分野 (時間の関係で次回会議へ)

ウ 文化芸術分野 (時間の関係で次回会議へ)

●柳原政策企画部長

次回会議につきましては、次第に記載いたしましたとおり、8月以降に日程調整させていただき、今回の続きを含めまして、「上田市教育大綱」の改訂版と「第3期上田市教育支援プラン」の素案の協議について、御提案をさせていただきます。

詳細日程につきましては、のちほど御連絡したいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

それでは、本日の会議事項は以上となりますので、これにて閉会させていただきます。誠にありがとうございました。